



## 「学力向上プラン」策定など 各校での取組を!! No.6

各学校では、学力向上に向けて様々な研究・実践を行い、成果をあげている取組も多くあります。子どもの実態等を把握し、学力向上にかかわる重点目標等を全教職員で共通理解を図りながら、学校として組織的に「学力向上プラン」を作成し、随時改善を図っていただいているところです。

本プランの実施にあたっては、常に、「子どもたちは、すこやかにたくましく育っているか」という問題意識を共有し、子ども一人一人の確かな成長のために、チーム力を発揮し、学校全体としての取組を進めることが重要です。

なお、「9年間を見通した学力向上のてびき」に掲載している「学力向上のための10の提言」を各学校での実践に役立てていただき、学習習慣や生活習慣の確立、授業改善等に生かしてください。また、各学校での実践に参考になる学力向上に向けた取組をこの「学校教育情報・堺」において紹介していきます。

### 学力向上のための10の提言

1. 心の教育をはじめ、すべての教科や領域等の学習、習得型や探究型の学習にバランスよく取り組む。
2. 学校全体の学力傾向を把握して学力向上プランを作成し、学力向上委員会等を設けて授業改善に取り組む。
3. 互いに認め合い、学び合うことができる学級づくりに取り組む。
4. 習熟度別指導等、個に応じた指導を推進し、子ども一人一人を大切にされた指導方法の工夫改善を図るとともに、授業づくりや学級経営、家庭学習力向上等に関する、優れた指導のノウハウを共有化し、実践する。
5. 宿題を適切に課すなど、学校・学年として家庭と連携した学習習慣の確立に努め、家庭に協力を依頼する。
6. これだけは習得させたいといった内容について、子どもや保護者に分かりやすく示し、確実な定着を図る。
7. すべての教科等において、国語力を体系的・継続的に育成する授業に取り組む。
8. 言葉や数、図、表、グラフなどを読み取ったり、それらを用いて説明・表現したりする指導に取り組む。
9. 観察・実験や自然体験、科学的な体験を充実し、「考察する」「説明する」「探求する」力を育成する。
10. 多様な授業評価に取り組む。

「9年間を見通した学力向上のてびき」より

## 家庭と協働した学力向上を・・・

堺市立新浅香山小学校では、年度当初保護者に「学校教育説明会」を開催しています。

この「学校教育説明会」は、学校・家庭・地域が一つの方向性をもつことで教育効果を高めていきたいと考え、4年前から取り組んでいます。この説明会では、教育方針や重点目標について十分に時間をかけて保護者に説明しています。

授業中、子どもが学習に集中できる環境の中でこそ、教育目標の達成を図ることができるという方針のもと、中・長期的目標を「落ち着いた学校教育環境の中で、確かな学力と人間性豊かな心、そして、それを支える体力を育てる。」と定めています。中・長期的目標は学校の最大の思いを提示したものであり、子どもたちが真剣に学習することができる学校・学級の雰囲気づくりをめざして設定したものです。この目標を実現するために、今年度の重点目標を次のように掲げ、具体的な実践につなげています。

- ◇人・自然との豊かな触れ合いの創造                      一人・自然への愛を育てよう―
- ◇チームプレイによる指導体制の創造                    ー教師は最大の教育環境となろう―
- ◇さらに開かれた学校の創造                                ー保護者・地域と連携しよう―

家庭学習、読書習慣の大切さを十分保護者に伝え、家庭と協働した学力向上の取組を進めています。また、算数科の少人数指導や教科担任指導を推進し、子どもが分かる授業を創造していく取組を学校全体で進めることで、学校力の向上につながっています。

※「学校教育説明会」の詳細については、新浅香山小学校のホームページをご覧ください。

## ITを活用した学力向上をめざして・・・

堺市立熊野小学校では、情報機器（IT）を活用した学習に取り組んでいます。昨年度よりIT教育推進校として様々な学習を創意工夫しています。生活科では電子黒板を活用してひまわりの成長の変化を学習したり、総合的な学習の時間等でテレビ会議を通して、日頃触れることのない様々な自然に触れたり、システムを活用して多くの人たちとの交流を深めたりしています。

算数では学習用ソフト「インタラクティブスタディ」を活用して学習を進めています。第2学年では掛け算の基礎となる九九を繰り返し学習することは大切ですが、コンピュータで学習を進めることで、一人一人の理解の程度に応じた学習が可能となり、子どもたちは集中して学習することができます。画面がどんどんかわっていくので楽しく学習でき、時間があっという間に過ぎます。また、教師は一人一人の子どもが一目瞭然に画面で把握することができ、学習状況やつまづきを点検しながら個別指導がしやすいといった利点があります。

学校では、「インタラクティブスタディ」の教材開発にも取り組んでいます。わかりやすく九九を習得するために算数学習プログラム「かけ算九九」や「100マスけいさん（かけ算）」を開発して、効果的な学習を進めています。高学年用として、分数の定義について視覚的にとらえ、分数の計算にスムーズに取り組むことができる教材を開発中です。

このような自作教材を活用することで、次のような成果があがっています。

- ・自分のつまづきがわかる。
- ・達成感を味わうことができる。
- ・個々の理解の程度に応じて学習することができる。
- ・学習に集中して取り組むことができる。

子どもたちは、ITを活用して楽しみながら意欲的に学習に取り組み、確実に計算力を身に付けています。

※「ITを活用した取組」の詳細については、熊野小学校のホームページをご覧ください。